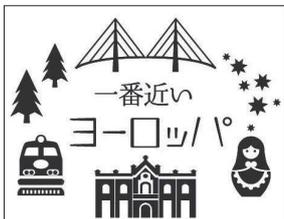


日露双方向交流40万人目指す 官民連携による「日露相互交流拡大WG」の設置

JATAは11月21日に開催された官民連携による「日露相互交流拡大ワーキンググループ」に参加し、双方向交流40万人の推進に向けて、積極的に取り組むことになりました。

同ワーキンググループは、自民党観光立国調査会によるロシア訪問などを契機に、日本へのインバウンド20万人とロシアへのアウトバウンド20万人の相互交流40万人を官民協力で具体化することになったのを踏まえ、その受け皿として機能するものです。

ワーキンググループは、観光庁、JNTOをはじめ海外旅行推進委員会の委員長を務める菊間潤吾JATA副会長及び大手旅行会社やランドオペレーター、航空会社などのメンバー7～8人で組織。実施計画では、特に、欧州ロシアの地方都市や極東エリアをメインのドステイネーションとして取り組みを進めることになっていきます。具体的には、欧州ロシア、極東、イルクーツクと地域を決めて目標を設定



極東ロシアのプロモーション用ロゴマーク

定し、2019年にそれぞれ、11万人、2万7000人、40000人の実現をめざし、最終的に2023年には14万3000人、5万人、70000人の合計20万人へ増やすことを目指します。

欧州ロシアでは特に地方都市の目標を2023年に1万人と設定しています。ロシアとの相互交流拡大をめぐっては、2016年10月に現地視察や極東ワーキンググループの立ち上げなど極東プロジェクトの活動が始まり、JNTOがモスクワ事務所を開設した2017年2月には日露定期協議に参加、同年4月にロシア・ワーキンググループが発足しました。2018年4月に自民党の二階俊博幹事長を団長とするミッションがロシアを訪れる際には、モスクワとサンクトペテルブルクに日本航空がチャーター便を運航しました。

さらに、二階幹事長ミッションを受けて、同年10月には、自民党観光立国調査会代表団のモスクワ視察時に菊間副会長が同行し、ロシア政府や議会の関係者、観光業界代表などとの会談を通じて、双方向で40万人規模を具体化するためにワーキンググループにおいて検討を重ねていくことになりました。

「平成30年度訪日外国人旅行者周遊事業 ランドオペレーターとのインバウンド商談会」を開催

JATAは12月11日、香川県高松市のサンポート高松で四国ツーリズム創造機構との共催により「平成30年度訪日外国人旅行者周遊事業 ランドオペレーターとのインバウンド商談会」を開催しました。この商談会はJATAとしては「第8回JATAインバウンド商談会」という位置づけです。

同商談会は、地域で訪日外国人旅行者の受け入れを推進している組織・団体や、既に訪日旅行者を受け入れている観光事業者や今後受け入れる予定の観光事業者とJATA会員のインバウンド事業者との間で、より強固なネットワークを構築し、地域への訪日旅行者数の拡大を図り、当該地域の振興に資することを目指しています。

今回の商談会には、セラー67社・団体の94人とバイヤー14社の41人が参加しました。

第1部では、香川県の浜田恵造知事による歓迎の挨拶の後、需要拡大部会、喜田座長より「拡大するインバウンド需要を四国でいかに取り込むか」をテーマに掲げた講演で、四国4県における訪日外国人旅行者の現状を分析したほか、訪日リピーターへのアプローチやリピーター

獲得の重要性、四国全体として訪日旅行者に知名度の高い大阪や広島の「近郊」であることをアピールする必要性などが指摘されました。

各地域の組織団体によるプレゼンテーションが行われた第2部では、徳島・香川・愛媛・高知4県とJR四国の担当者が登壇し、それぞれの立場から地域の魅力を紹介。

第3部の商談会では、5枠のアポイント商談と3枠のフリー商談が実施され、熱のこもった情報交換が行われました。



総勢135人が参加した第3部・商談会でのセッション

2月21日にJATA経営フォーラム開催 総合テーマは「旅行業革新への挑戦(トライ)」

JATAは2月21日、東京・六本木の六本木アカデミーヒルズで「JATA経営フォーラム2019」を開催します。

今年度で27回目を迎える同フォーラムの総合テーマは、「旅行業革新への挑戦(トライ)」。

基調講演、分科会、特別講演の三部構成で、他業界の企業の代表や有識者、専門家なども迎えて、旅行業界を取り巻く環境変化などを踏まえながら、業界が直面する課題などについて議論を深めます。

《JATA経営フォーラム2019》概要》

◎スケジュール

13:00～13:10 開会挨拶 田川博己 JATA会長

13:10～13:20 来賓挨拶 観光庁・田端浩長官

13:20～14:20 基調講演 新井紀子氏(国立情報学研究所社会共有知研究センターセンター長・教授/一般社団法人教育のための科学研究所 所長・代表理事) 〓

テーマ「人工知能がもたらす人と社会の未来」

14:30～16:10 分科会



基調講演で登壇する新井紀子氏

○分科会(A)「優秀な女性人材を逃すな!」女性が長期的に能力発揮可能な職場環境とは?」(仮題)

概要:「女性の活躍」にテーマを絞り、同業

異業種の施策、取組事例の紹介を通じて、旅行業界が取り組むべき女性活躍のあり方を議論します

モデレーター:吉金嘉洋氏(株式会社日本旅行 取締役兼常務執行役員)

パネリスト:鬼島絵里氏(株式会社エイチ・アイ・エス 本社人事本部 人事企画グループ 人事企画チーム チームリーダー) / 高崎邦子氏(株式会社JTB 執行役員) / 本多田紀氏(株式会社資生堂 社会価値創造本部 Diversity&Inclusion Section Director)

○分科会(B)「テクノロジーが変える経営とツーリズムマーケット」

概要:AIに代表されるテクノロジーの進化が今後の旅行者の体験や旅行市場に与える影響を考察し、これからの経営の姿を探っていきます

モデレーター:三島健氏(株式会社JTB Web販売部戦略統括部長)

パネリスト:伊藤かつら氏(日本マイクロソフト株式会社 執行役員 常務 デジタルトランスフォーメーション事業本部長) / 菊池新氏(株式会社ナビタイムジャパン 取締役 副社長兼CTO) / 鶴本浩司氏(トラベルボイス株式会社 代表取締役社長)

○分科会(C)「中堅旅行会社トップ対談『これからの旅行業経営』」(仮題)

概要:中堅旅行会社のトップに、各社それぞれの経営戦略や背景を語っていただき、これからの旅行業経営を考えます

モデレーター:東良和氏(沖繩ツーリスト株式会社 代表取締役会長)

パネリスト:石川邦大氏(TOUR LIFE ホテルディングス株式会社 代表取締役社長) / 近藤康生氏(WBFホールディングス株式会社 代表取締役) / 他1人(※調整中)

○分科会(D)「カスタマージャーニー(タビマエナカアト)から考える新たな価値づくり」

概要:旅の情報収集・申込・決済手段が大きくWebに遷移する中で、カスタマージャーニーの概念に基づき旅行会社に求められる新たな役割とビジネスモデルを検証します

モデレーター:山下真輝氏(株式会社JTB総合研究所 コンサルティング事業部 コンサルティング第五部長 主席研究員)

パネリスト:大西希氏(鶴雅リゾート株式会社 常務取締役) / 沢登次彦氏(株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター センター長) / 牧野友衛氏(トリップアドバイザー株式会社 代表取締役)

16:25～17:25 特別講演 木村大作氏(映画監督・撮影技師) / 田中まこ氏(特定非営利活動法人ジャパンフィルムコミッション 理事長) 〓テーマ「映画と観光」 〓対談形式

17:25～17:30 閉会挨拶

北海道支部

12月21日 訪日旅行委員会

1月8日 観光業界新年交礼会

東北支部

1月7日 幹事会

1月7日 新春交賀会

関東支部

1月9日 千葉県地区委員会賀詞交歓会

関西支部

1月7日 幹事会

1月7日 関西支部年賀会

1月9日 兵庫地区新年互礼会

中部支部

1月10日 愛知岐阜三重地区合同新年賀詞交歓会

九州支部

1月8日 総務委員会

1月9日 新年賀詞交換会

1月9日 総務委員会

1月9日 実務委員会

1月9日 海外旅行委員会

1月9日 訪日旅行委員会

沖縄支部

1月7日 沖縄観光新春の集い